

深川市地域公共交通活性化協議会 平成30年度 事業報告書

1. 会議の開催

地域公共交通網形成計画に基づき、市内公共交通の利便性の向上や持続可能な公共交通網の形成に向けた協議を行いました。

【第1回会議】 平成30年11月19日

- ・ 会長及び副会長の選任について
- ・ 監査委員の指名について
- ・ 平成30年度事業計画（案）及び予算（案）について
- ・ 路線バス体験乗車会（案）について
- ・ その他

【第2回会議】 平成31年 2月20日

- ・ 路線バス「循環線」実証実験について
- ・ 平成30年度補正予算（案）について
- ・ デマンド交通について
- ・ その他

2. 路線バス「循環線」実証実験

1年間を通した実証実験を実施し、利用状況や採算性を調査した結果、平成31年4月1日より本格運行とすることを決定した。また、蓄積した利用者ニーズを基に、本格運行時には一部バス停留所の位置を見直すほか、運行経路や運行ダイヤについても見直しを視野に入れ、本格運行後も継続協議していくことを確認した。

事業期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日（1年間）
事業内容	これまでの「あけぼの町」と「市立病院」の間を結ぶ「市内線」を再編し、市立病院を始点、JR深川駅を終点として、市街地を循環する路線を運行。 ・ 1日あたりの運行便数：全10便（2系統×5便） ・ 利用運賃：一律190円
運行業者	空知中央バス株式会社
運行日数/運行便数	360日/3,600便
年間キロ程	59,044km
年間利用者数	17,621人
年間経費(@191.87円/km)	11,329千円
年間収入(雑収入等含む)	3,112千円
委託料(経費-収入)	8,217千円

3. 路線バス体験乗車会

路線バスの利用経験の少ない方に、路線バスの「停留所位置」「行き先」「乗り方」などを知ってもらい、利用促進を図るため路線バス体験乗車会を開催しました。

開催日	開催区分	参加者数
12/8(土)	中央公民館 (9:00~12:00) ・循環線 (深川市役所先回り)	24人
	多度志コミュニティセンター (13:30~16:30) ・多度志線、循環線 (深川市役所先回り)	12人
12/9(日)	あけぼのコミュニティセンター (9:00~12:00) ・沼田線、循環線 (深川市役所先回り)	20人
	納内コミュニティセンター (13:30~16:00) ・深旭線、循環線 (深川市役所先回り)	4人
12/15(土)	生きがい文化センター (9:00~12:00) ・北竜線、循環線 (生きがい文化センター先回り)	15人
	音江公民館 ・滝深線 (音江経由)、循環線 (深川市役所先回り)	7人
合計		82人

4. 公共交通空白地域における移動手段の確保に関する協議・検討

路線バスや鉄道がない公共交通空白地域の日常生活の移動手段を確保するため、デマンド型乗合タクシー等の導入などについて、他市町村の交通体系の情報収集及び対象地区の選定について、検討を進めました。